

やすらぎネット

2025 年
7 月号
No.69

やすらぎが息づく、未来のまちへ

令和7年度 福祉委員総会

地域を元気にするサポーター



「さりげなく」
「ゆるやかに」
「無理をせず」

みんなで支えて誰もが
安心して暮らせる
福祉のまちづくり
を目指して

福祉委員は地域づくりの主役!!

住民一人ひとりの参加による
支え合う地域づくり…

つなげる♡つなげる地域の輪



福祉委員総会を各地区で開催しました。福祉委員の活動は見守り訪問をはじめ、避難行動要支援者登録の更新や新規登録のお手伝い、ふれあい配食サービス利用者への声かけ訪問活動など多岐にわたります。

“地域を元気にするサポーター” 福祉委員の活動にご理解ご協力をよろしくお願いします！

ふくロールちゃん



まもロールくん



社会福祉法人 東かがわ市社会福祉協議会
ホームページアドレス URL <https://www.higashikagawa-shakyo.jp>
Facebook ページ URL <https://www.facebook.com/higashikagawashakyo>

令和7年度 東かがわ市社会福祉協議会 事業計画及び予算の概要



◆事業計画

【基本方針】

我が国では、人口減少や超高齢社会の進展、家族や地域で支え合う機能が低下したことなどにより、社会的孤立や虐待など個人や世帯が抱える生きづらさ（リスク）が複雑化・多様化し、従来の福祉の枠組みだけでは対応困難な課題が顕在化しています。

そのような中、全国的な取り組みとして、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を推進し、団塊の世代が75歳を迎える2025年問題や今後の人口減少社会に対応すべく、「我が事、丸ごと」をキーワードとした「地域共生社会」の実現に向けて、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超え、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と地域の福祉活動などが世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会づくりを目指しています。

そこで、これらの状況を踏まえて本会では、国が進める「我が事、丸ごと」地域共生社会の実現のため、地域包括支援センターや成年後見制度に関する中核機関、生活困窮者自立支援制度、日常生活自立支援事業、法人後見事業などの権利擁護に関する総合的な相談支援事業と、地域で活動する福祉関係者や団体等と連携を図り進めている見守り活動や居場所づくり等の地域福祉活動を一体的に実施することで、住民一人ひとりを尊重した「誰もが安心して暮らせるまち東かがわ」に取り組んでいきます。

また、個人や世帯が抱える複合的な課題を十分に受け止め、地域力を基盤にその解決につなげる支援体制を構築していくために、地域住民をはじめ民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティア、関係団体及び行政等との連携体制のもとで地域のつながりの再構築を目指し、新たな仕組みづくりや小地域における住民主体の福祉活動など、共に支え合える地域社会づくりを推進します。

以上のことを踏まえ、役職員一丸となり地域福祉の推進役を担う中核組織である社会福祉協議会としての責務を果たすため、令和7年度の事業計画を次のように策定します。

【重点項目】

1. 組織経営基盤の充実強化
2. 地域福祉活動の推進強化
3. 在宅福祉サービス事業の充実強化
4. 子育て支援事業の充実強化
5. 相談支援事業の充実強化
6. 災害支援体制の充実強化
7. 障害福祉サービス事業の経営の安定とサービスの質の向上

◆当初予算の概要

収入の部 (単位：千円)		支出の部 (単位：千円)	
会費収入	4,660	人件費支出	243,036
寄附金収入	930	事業費支出	30,938
経常経費補助金収入	72,022	事務費支出	29,257
受託金収入	152,688	就労支援事業支出	4,441
事業収入	5,194	分担金支出	5
負担金収入	33	助成金支出	7,520
介護保険事業収入	26,400	固定資産取得支出	1,270
就労支援事業収入	4,269	基金積立資産支出	161
障害福祉サービス等事業収入	42,277	積立資産支出	2,758
香川おもいやりネットワーク事業収入	100	支出の部 合計	319,386
受取利息配当金収入	13		
その他の収入	72		
基金積立資産取崩収入	1,000		
積立資産取崩収入	2,442		
その他の活動による収入	3		
前期末支払資金残高	7,283		
収入の部 合計	319,386		



令和7年度より
スタート!!

重層的支援体制整備事業について

子ども・障がい・生活困窮・介護といった分野ごとの相談体制では解決に結びつきにくい世帯が抱える「生活の困りごと」を解決するために、関係機関や関係者と連携して「属性や世代を問わない包括的な相談支援」、「参加支援」および「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する事業です。

包括的な相談支援

子ども・障がい者・生活困窮者・高齢者など属性や世代を問わず、あらゆる相談に対応

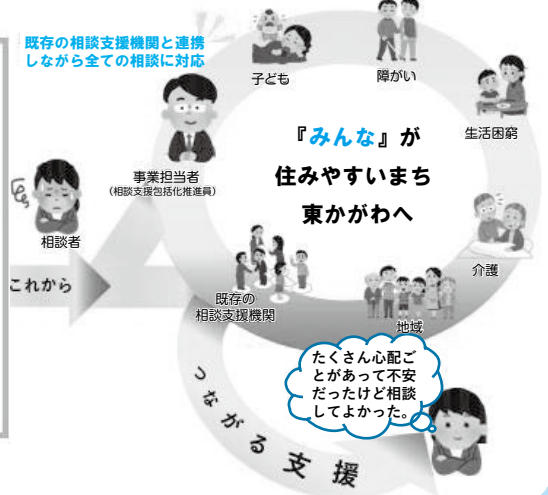
参加支援

既存の制度やサービス等の支援策では対応が難しい課題にも対応

地域づくりに向けた支援

支え合える地域づくりを目指し、世代や属性を超えた交流の場や居場所の確保を支援

相談支援のイメージ



悩みがたくさんあって、どこに相談したらいいかわからないこと、誰に話せばいいのかわからないことがあれば、どうぞお気軽にご連絡ください。

【お問い合わせ】 福祉課 TEL 0879-26-1228
生活サポートセンター TEL 0879-26-1151



“地域資源マップ”を更新しました!!

地域資源マップは、住み慣れた地域で安心して幸せに、そして共に支え合って暮らしていただくため、介護予防、健康、生きがいづくりにお役に立つ地域資源の情報をまとめた冊子です。



このような方に
おすすめです



- 日々の暮らしの中でのちょっとした手助けやサービスに関する情報を探している人
➢配食サービス業者情報・買物支援サービス業者情報・家事支援業者情報
- 健康づくりに取り組みたい方、誰かと交流したい人
➢介護予防事業情報（元笑気教室情報・高齢者憩いの場情報など）サロン団体情報
- 日々の健康を守るための病院、薬局、歯科医院の情報を知りたい人
➢病院情報・薬局情報

「自分らしく、自立した暮らし」を続けるために…あと少しの手助けが欲しい時に、是非ご活用ください

※最新情報は社会福祉協議会ホームページでご確認ください

社協ホームページ <https://www.higashikagawa-shakyo.jp>

【お問い合わせ】 総務地域づくり係 TEL 0879-26-1122



第4期 東かがわ市地域福祉活動計画を策

見つけるつなげる座談会

「東かがわ市地域福祉活動計画」の策定にあたり、地域福祉関係者、住民代表、社協、行政関係者及び、学識経験者などで構成する「地域福祉活動推進会議」において住民座談会や住民アンケートの情報をもとに計画の骨子を作成する会議を行いました。各地区で開催した座談会では住民の皆様から広くご意見をいただきました。また、幅広い世代の意見を聞くことが必要との声より、小学生・高校生のワークショップを行いました。

地域福祉活動
推進会議の様子



世代を超えて
つながることができる
機会を作ろう！

ゆるやかに見守り
つながりあえる関係
づくりが必要！



自分たちの
地域を知ること
から始めよう！



私たちにも
できること
がある



地域の皆様の「想い」を「かたち」にするために、令和7年度も“見つけるつなげる座談会”を開催します。自分たちの地域のために、未来の自分のために、元気な今だからできることをみんなで話し合いました。

地域の皆さんと東かがわ

～みんなが寄りぞい 一緒につくる

支え合いの輪を広げよう



【住民の声から】

- 昔に比べて地域内の交流が少なくなり、地域のつながりが薄れてきたように感じる
- 自治会行事・サロン活動・老人会に参加する人が減ってきた
- 地域の中で多世代が交流できる機会が必要
- 地域に認知症の人が増えてきており、地域で支え見守る仕組みが必要



みんなが寄り添い、お互いに支え合える
地域をつくろう

【推進する施策】

- 住民同士がつながる地域づくり
- 地域を支えるネットワークづくり
- 安心して生活できる地域づくり



4つの重

一人ひとりの暮らしを守ろう



【住民の声から】

- 地域でゆるやかに見守り、つながりあえる関係性づくりが必要
- 困りごとを抱えている人に必要な情報を届けるための仕組みが必要
- 総合相談の窓口や、緊急通報体制整備事業等の暮らしのサービスについて周知をして欲しい



生活のしづらさに対応し、みんなが安心して
生活できる地域づくりを推進しよう

【推進する施策】

- 総合的な相談窓口の整備・周知
- 地域で孤立しないさせないためのコミュニティづくり
- 切れ目のない支援体制の強化



市社協は、
一緒になって地域福祉を推進します。

誰もが“安心して笑顔で暮らせるまち”東かがわ～

暮らし・地域福祉を 担うひとを育てよう



【住民の声から】

- 思いやりの心、やさしい心を育てるための働きかけが必要
- 高齢社会となり福祉活動の中心的な担い手の高齢化や固定化が進んでいる
- 地域の活動を知らない方や時間の余裕がなくボランティア活動をしたくてもできない方がいる
- 次世代を担うリーダーを育てる取り組みが必要



地域で活躍する福祉人材を育む 「人づくり」に取り組もう

【推進する施策】

- 地域福祉を進める意識づくり
- 地域福祉を支える担い手づくり
- 多様な主体がつながる地域づくり



重点目標

災害にも強いまちをつくろう

【住民の声から】

- 防災意識を高める取り組みが必要
- 孤立する人がでないためにも日頃からのご近所同士のつながりが大切
- 自治会の備え対策が必要
- 避難行動要支援者を地域で支える仕組みづくりが必要



地域の防災力を高め、災害にも強いまち づくりを推進していこう

【推進する施策】

- 防災意識を高める仕組みづくり
- 地域防災力の向上を図るための人材育成・養成
- 避難行動要支援者を地域全体で支える仕組みづくり



地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画とは、社会福祉協議会が地域に呼び掛けて、住民をはじめ社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業を経営する者等が相互に協力して策定する「民間サイド」から地域福祉の推進に取り組む活動・行動計画です。

住民主体の活動計画

自助・互助・共助・公助の役割の中で支え合い・助け合いを基調に、誰もが住み慣れた家庭や地域で安心して暮らすことができるよう、住民を主体とし、行政・関係機関との協働のもとに地域福祉を推進するための指針を示した「住民による住民のための行動計画」です。

世代を超えてみんなで 取り組む福祉のまちづくり



地域福祉活動計画は、つくることが目的ではありません。計画を着実に実行して、その取り組みを評価し、見直すことが大切です。

“誰もがいつまでも安心して笑顔で暮らし続けられるまちづくり”を目指し、皆様とともに取り組みます。

東かがわ市地域福祉活動計画の詳細については、東かがわ市社会福祉協議会ホームページに掲載しております。

<https://www.higashikagawa-shakyo.jp>



東かがわ市地域ふれあい教室事業

げんえき
元笑気

参加費
無料

地域ふれあい教室『元笑気』は、健康寿命を延ばし、住み慣れた地域でいつまでもいきいきと生活ができるよう、**なかまと楽しく、元気に笑って**介護予防に取り組み、生涯現役を目指す教室です。

恒例の元笑気賞です!! 皆勤賞・精勤賞受賞のみなさんおめでとうございます!!
これからも健康長寿を目指しましょう!



元笑気参加者は
年間延べ6000人を突破!!



端自治会集会所の元笑気教室が
終了となりました。

お元気で

ありがとうございました。



東かがわ市特化型介護予防事業

無料

ぷらす

じゅう
10

参加者
募集中!

お口を健康に

口腔→栄養 美味しく食べて

脳も若々しく

脳若←運動 筋力アップ

口腔と
栄養と運動と
脳若の4つ!

いよいよ9月から白鳥コミュニティセンターで始まります。



あなたの未来を守る4つの力!



【お問い合わせ】 生活サポートセンター TEL 0879-26-1122

東かがわ市受託事業

備えよう!
考えよう!!

東かがわ市 地域防災講演会



日時

令和7年 9月12日(金) 19時00分~

演題

「(仮)災害がもたらす現状と
今後の防災のあり方について」

講師

一般社団法人BIG UP石巻

代表理事 ^{あべ}阿部 ^{よし のり}由紀氏



平成23年に発生した東日本大震災において、宮城県石巻市社会福祉協議会職員として地域の復興支援活動の第一線で活躍。翌平成24年に、より被災者に寄り添える活動を目指し、一般社団法人「BIG UP石巻」を設立。被災された人々を長期的に見守ることによる地域の活性化やメンタルケアに取り組むことの大切さを重点課題とし、毎年全国各地で発生している大規模災害による被災地において、復興支援活動現場の最前線で活躍中。

会場

東かがわ市交流プラザ
(2階 多目的ホール)

申込締切

令和7年9月8日(月)までに

下記電話または右記二次元コードにて
お申し込みください。



▲こちらの二次元コード
からもお申込みできます。



【申込・お問い合わせ】 総務地域づくり係 TEL 0879-26-1122



東かがわ市 国際交流協会

【瀬戸内国際芸術祭作品鑑賞ツアー】

日時：令和7年8月17日(日) 時間未定
場所：瀬戸内国際芸術祭 引田・志度・津田エリア
※集合場所 東かがわ市役所西側駐車場(予定)

内容：同芸術祭の作品を鑑賞しながら
東かがわ市やさぬき市の魅力にふれるツアー

連絡先：市地域創生課 ☎0879-26-1276

東かがわ市 たけのこ教室

【わくわくインドアディキャンプ】

日時：令和7年8月24日(日)10時～14時頃
場所：大内公民館 2階ホール
内容：障がい児者が保護者や支援者とともに、リハビリを兼ねた心と身体のリフレッシュ活動

連絡は社協まで ☎0879-26-1122

※お問い合わせを頂きましたら社協より代表の方へ連絡します

東かがわ市
地域包括支援センター
コラボ企画

おはなし会「こそあど」

【秋だよ!!おはなし会】

日時：令和7年9月13日(土)11時～11時半
場所：市立図書館 2階「おはなしの森」

内容：お月見のおはなし、コスモスやどんぐり、さつまいもやトンボ、秋の虫や動物なども登場します。大型絵本も登場します。是非ご参加ください。

かわいいクラフト作りもあります♪

連絡先：坂東さん ☎0879-25-6689



9月は アルツハイマー月間です

《認知症への理解を深めるための啓発活動が行われる期間》

9月13日のおはなし会では認知症に関する絵本を読んでもいただきます! 認知症は誰にもなりうると言われてしています。思いやりの気持ちを考えるきっかけになる絵本にふれ、よりそう大切さを学びましょう♡

お問い合わせ：東かがわ市地域包括支援センター

☎0879-26-1261



認知症キャラバンマスコットキャラクター
ロバ/職員

ボランティア活動情報

ボランティア活動を
紹介します。



東かがわ市立大内小学校

～身近なことから始めるボランティア活動～

【ペットボトルキャップ収集ボランティア】

大内小学校5・6年生の人権委員の皆さんが中心となりペットボトルキャップ収集ボランティア活動を行っています。給食の時間に放送で呼びかけて、翌日に各教室を回りコツコツと集めてくれています。

先日収集したキャップの贈呈式が行われました。
小学生の皆さんの元気とパワーに松家局長もニッコリ!



43,000個!

島の内自治会 こども見守りたい

～登校時の通学路の見守り・挨拶運動～

島の内自治会の有志の皆さん8名によるボランティア活動を紹介します。平成28年に開始した見守り活動。小学生の通学を見守っています。



代表：田村さん

子どもが減ってきたけれど、自分たちがやらないとこの活動がなくなってしまう。子ども達の安全な登校を守るためにできる人がやっていく。活動をつないでいきたい。自分自身の健康にもつながるしね!

スマイル&スマイル

～ボランティアを募集しています～

日時：毎週火曜10時～12時
場所：丹生コミュニティセンターにて学習療法のサポートや、レクリエーションのお手伝い、参加者の傾聴をしていただける人を募集しています!

介護予防ボランティア
さんも活躍中



連絡先：絹島 田中さん ☎0879-25-6511

ご寄付御礼

善意のおくりもの



社会福祉協議会に、次の皆様から暖かいご寄付をいただきました。寄せられました寄付は、社会福祉事業推進のため有益に活用させていただきます。皆様のご厚志に対し深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

●フードバンク寄贈

・四国電力株式会社 香川支店 様
・四国電力送配電株式会社
高松支社 東かがわ事業所 様

●香典返し寄付

・六車 宜哲 様
・滝 浩司 様

●もののバンク寄贈

・古川 正 様



●一般寄付

・坂元おもいやり会 様

社協職員コラム

よろしくお願いします

こんにちは。
R6.12月より介護予防支援員として働いている渡邊です。

私の日課は「空を見あげること」です。朝、心をゼロベースに戻すためにセルフケアをして出勤することになっています。

「見あげる」という動作がポイントです。1日に何度か空を見あげること、自然と胸を「ピン！」と張れるので姿勢と呼吸が整います。呼吸が整えば、「今日は〇〇も頑張ってみようか」という気持ちになります。日々、小さな幸せがあることも大切なことかもしれません。皆さまなりのリラックス法など、是非、一緒にお話をさせてもらえたら嬉しいです。



認知症サポーターキャラバン マスコットキャラクターロバ隊長 贈呈式

令和7年3月12日(水)東かがわ市にある(株)FUJIDAN様より、強化段ボール製の認知症キャラバンマスコットキャラクターロバ隊長を製作いただき、市に寄贈してくださいました。



認知症に関するイベント等を行う際には、このロバ隊長と共に啓発広報活動を行います。地域の皆さんに認知症に関する正しい知識と理解を広め、認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指します。



東かがわ市に大きなロバ隊長がいるよ！

市役所1階ロビーにいます♡
ぜひ会いに来てください♡
時々、イベントに出張しています♡



オレンジ色：認知症支援のシンボルカラーです。オレンジ色は、日本の赤絵磁器（柿右衛門様式）に由来し、世界中で認められるようにとの願いが込められています。

ロバ隊長とは

厚生労働省が2006年より全国的に推進してきた「認知症サポーターキャラバン」のシンボルキャラクターです。「認知症になっても安心して暮らせるまち」が市民の手によってつくりだされ「ロバ隊長」には、ロバのように、急がず、しかし一歩一歩着実に、認知症への偏見を取り除き、正しい知識を進めていく、という意味があります。

さつき園だより

就労継続支援B型事業所さつき園では、季節ごとに行事を計画し開催しています。今回はお花見の様子をご紹介します。

お花見ドライブ
～亀鶴公園～



桜と一枚！

美味しい！



お花見昼食会



就労継続支援B型事業所さつき園では、障害者総合支援法に基づく福祉サービスの提供と、基本的な日常生活習慣、および地域で生活するために必要な社会性を身につけるための支援を行っています。利用に関するご相談や見学などいつでも受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

社会福祉法人東かがわ市社会福祉協議会

■ 事務局 〒769-2701 東かがわ市湊1809番地

TEL 26-1122 / FAX 26-3016

障害福祉サービス事業

就労継続支援B型事業所◆ さつき園

特定相談支援事業◆ 相談支援センター 東かがわ市社協

〒769-2601 東かがわ市三本松1295番地15

TEL 25-2473 FAX 24-0959

介護保険サービス事業

地域包括支援センター

〒769-2701 東かがわ市湊1809番地

TEL 26-1261 FAX 26-3016